

2022 年 1 月 19 日

2021 年度第 4 四半期決算

バンク・オブ・アメリカは、2021 年度第 4 四半期決算を発表しました。

第 4 四半期業績【参考訳文(要旨)】

- 当期純利益は 28%増加して 70 億ドル(希薄化後 1 株当たり 0.82 ドル)となりました。これは、収益が費用を上回るペースで増加したことによる堅調な営業レバレッジを反映しています。
- 収益(支払利息控除後)は、10%増加して 221 億ドルとなりました。
- 貸倒引当金繰入額は、542 百万ドル改善し、489 百万ドルの戻入となりました。これは、資産の質及びマクロ経済の改善によるものでしたが、貸出金の増加により一部減殺されました。引当金の純取崩しは 851 百万ドルとなりました。
- 非金利費用は、6%増加して 147 億ドルとなりました。これは、収益関連のインセンティブ報酬の増加によるものでしたが、COVID-19 関連費用の減少により一部減殺されました。営業レバレッジは 4%となりました。
- 平均貸出金及びリース金融残高は、100 億ドル増加して 9,450 億ドルとなりました。期末残高は、商業貸出金の大幅な増加及びカード残高の増加により、510 億ドル増加して 9,790 億ドルとなりました。
- 平均預金残高は、2,800 億ドル(16%)増加して 2.0 兆ドルとなりました。
- 平均グローバル流動性は、2,150 億ドル(23%)増加して 1.2 兆ドルとなりました。
- 普通株式等ティア 1(CET1)比率は、10.6%(標準的アプローチ)となりました。普通株式配当及び株式の買戻しにより、2021 年度において株主に対して 317 億ドルを還元しました。

プレスリリース原文および注記は[こちら](#)をご参照ください。

※特に注記のない限り、記載されている比較(%)は前年同期比、また貸出金および預金残高は平均して表示しています。